

社会福祉法人さくらの家福祉農園

事業報告書

平成 30 年度

目 次

目次	p1
I 法人の動向		
1 法人の概況	p2
2 土地及び建物	p2
3 法人組織	p3
II 指定就労継続支援 B 型事業所・指定生活介護事業所「さくらの家福祉農園」の動向		
1 事業所の行事	p7
2 利用者数の状況	p7
3 利用者支援状況	p9
4 地域生活サポート事業	p15
5 ボランティア等受け入れ状況	p16
6 職員研修・出張状況等	p16
III 「障がいサポート コールラビ」の動向	p18

I 法人の動向

1 法人の概況

法人の沿革

平成 18 年 10 月 25 日	社会福祉法人さくらの家福祉農園、神奈川県より認可
平成 18 年 11 月	第 1 回理事会が開催され、大谷弘氏が理事長に就任
平成 18 年 12 月	施設建物建築着工
平成 19 年 3 月	建物完成
平成 19 年 4 月 1 日	指定就労継続支援B型事業所「さくらの家福祉農園」の運営開始 石井尚美氏が施設長に就任
平成 20 年 4 月 1 日	指定相談支援事業所「さくらの家」の運営開始
平成 20 年 11 月	大谷弘氏が再任され、2 期目の理事長に
平成 20 年 12 月	法人化 1 周年記念報告会開催
平成 21 年 4 月 1 日	村井雄一朗氏が施設長に就任
平成 22 年 4 月 1 日	指定生活介護事業所「さくらの家福祉農園」の運営開始
平成 22 年 11 月	大谷弘氏が再任され、3 期目の理事長に
平成 22 年 11 月	法人化 3 周年記念報告会開催
平成 24 年 4 月 1 日	指定特定相談支援事業所「障がいサポート コールラビ」の運営開始
平成 24 年 5 月	大谷弘氏より法人借用中の土地を寄附 法人 5 周年記念式典、土地寄贈式開催
平成 24 年 11 月	西水紘一氏が理事長就任(第4期理事会)
平成 25 年 4 月	法人の管轄が神奈川県から伊勢原市に移譲
平成 25 年 4 月 1 日	指定就労継続支援 B 型事業所の指定更新
平成 26 年 11 月	西水紘一氏が理事長(2 期目)として再任(第 5 期理事会スタート)
平成 28 年 4 月 1 日	指定生活介護事業所の指定更新
平成 28 年 11 月	第 3 期西水紘一理事長(第 6 期理事会)
平成 28 年 11 月 23 日	法人設立 10 周年記念収穫感謝祭開催
平成 29 年 3 月	社会福祉法改正により、評議員選任解任委員会が組織され、初めての会合を開催し、次期評議員 7 名を選任
平成 29 年 4 月 1 日	社会福祉法改正により、新規評議員会(7 名体制)の任期(4 年)が開始
平成 29 年 6 月 14 日	社会福祉法改正による新規定時評議員会が開催され、次期理事を選任
同日	新規理事会が発足し、第 6 期理事長として、西水紘一理事が再任(4 期目)

2 土地及び建物

土地や建物は現況どおりで変更等はありません。

- (1) 土 地 ・ ・ ・ ①伊勢原市岡崎字天神下 7020 番 3 雑種地 84 m²
②伊勢原市岡崎字天神下 7021 番 1 雑種地 884 m²

- (2) 建 物 ・ ・ ・ 伊勢原市岡崎字天神下 6940 番地 2
社会福祉法人さくらの家福祉農園事務所 1 棟
木造合金メッキ鋼板ふき 2 階建 延床面積 207.03 平方メートル

(3) 建物平面図

2階平面図

就労継続支援B型事業所用 作業室 39.66 m ²	和室 16.77 m ²		倉庫 5.59 m ²
	喫煙	階段	職員用 トイレ 3.21 m ²
			相談室 8.03 m ²

1階平面図

事務室 14.32 m ²	多目的 スペース 12.53 m ²	加工室 7.16 m ²	食品加工室 8.95 m ²	更衣室 7.16 m ²	浴室 3.3 m ²	トイレ 4.4 m ²
					脱衣所 3.85 m ²	洗面室 4.95 m ²
生活介護用作業室 13.63 m ²	玄関	階段	収納	更衣室 4.17 m ²	更衣室 4.17 m ²	トイレ 3.85 m ²
				通用口		

3 法人組織

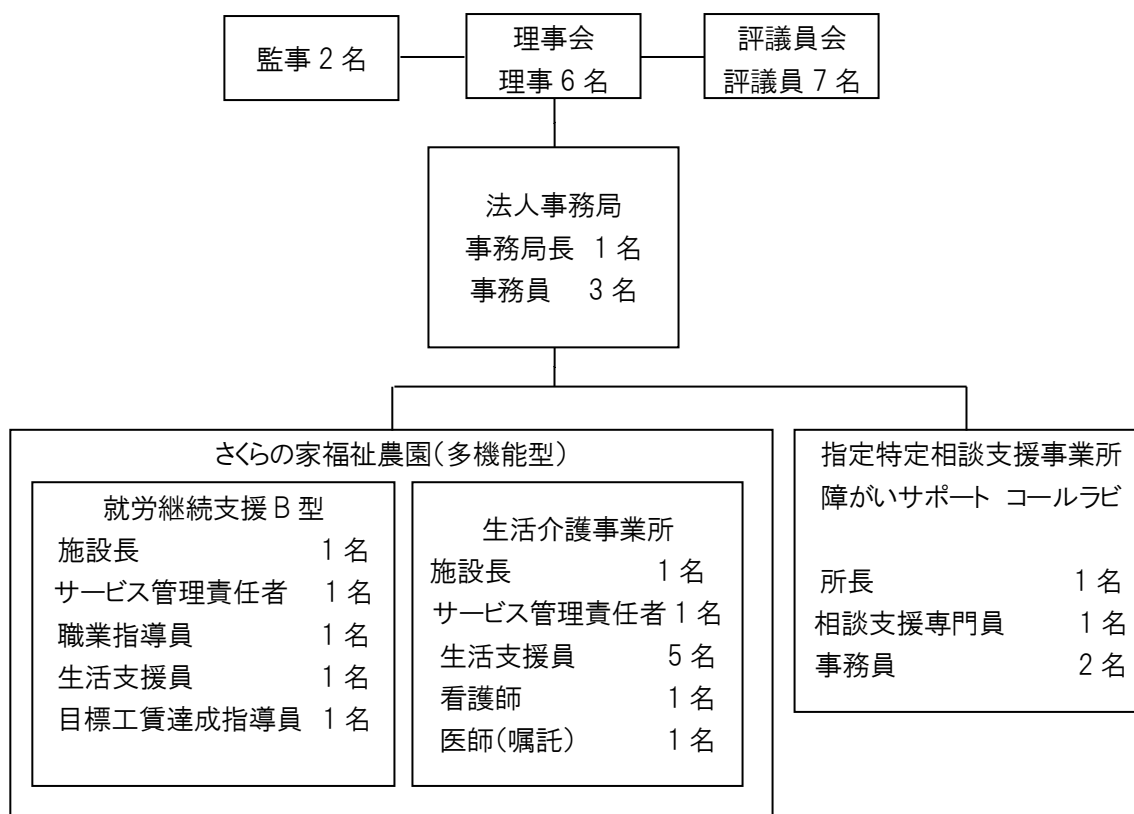
(1) 法人役員

	氏名	任期
理事長	西水 紘一	2017年6月定時評議員会～2019年6月定時評議員会
理事	勝田 俊一	2017年6月定時評議員会～2019年6月定時評議員会
	打田 行男	2017年6月定時評議員会～2019年6月定時評議員会
	石井 正道	2017年6月定時評議員会～2019年6月定時評議員会
	遠藤 岳洋	2018年6月定時評議員会～2019年6月定時評議員会
	村井 雄一朗	2017年6月定時評議員会～2019年6月定時評議員会
監事	中村 逸郎	2017年6月定時評議員会～2019年6月定時評議員会
	高橋 香織	2017年6月定時評議員会～2019年6月定時評議員会

(2) 評議員

	氏名	任期
評議員	渡辺 紀之	2017年4月1日～2021年3月31日
	朝倉 守男	2017年4月1日～2021年3月31日
	大杉 あや子	2017年4月1日～2021年3月31日
	吉田 清子	2017年4月1日～2021年3月31日
	衛藤 信恭	2017年4月1日～2021年3月31日
	中台 和子	2017年4月1日～2021年3月31日
	塚本 富男	2017年4月1日～2021年3月31日

(3) 組織図



(4) 理事会開催状況

理事会は、5月、10月、3月に定例会を開催しています。

5月定例は、平成29年度の事業報告及び決算報告を行っています。

10月定例は、理事長業務報告のみを行っています。

3月は平成30年度事業計画と予算編成を行い、平成29年度補正予算編成も行いました。

日程・内容等については、次表のとおりです。

平成 30 年度 理事会実施状況

月	日	名 称	審議事項	出席数(うち書面出席) 欠席数
5	24	5月定例理事会	第一号議案 平成 29 年度第2次補正予算 第二号議案 平成 29 年度事業報告 第三号議案 平成 29 年度決算報告 第四号議案 平成 30 年度第1次補正予算 理事長業務報告	5 名 欠席 1 名 監事 2 名
10	27	10月定例理事会	第一号議案 表彰規程の制定 第二号議案 出納責任者・出納職員の任命 第三号議案 車両のリースバックによる導入(リース契約) 理事長業務報告	5 名 欠席 1 名 監事 2 名
3	7	3月定例理事会	第一号議案 給与規定 俸給表(年齢給表)の変更 第二号議案 就業規則(常勤)の改定 第三号議案 非常勤職員就業規則の改定 第四号議案 平成 30 年度補正予算 第五号議案 2019 年度事業計画 第六号議案 2019 年度予算 理事長業務報告	6 名 監事 2 名

(5) 評議員会開催状況

平成 30 年度は 6 月 14 日に定時評議員会を行っています。主な議題は、平成 29 年度決算でした。

平成 30 年度 評議員会実施状況

月	日	名 称	内 容	出席数(欠席)
6	14	定時評議員会	審議事項 第一号議案 平成 29 年度決算の承認 第二号議案 補欠理事の選任 報告事項 第一号報告 平成 29 年度事業報告	6 名(1 名)

(6) 法人事務局会

法人体制強化の一環として法人事務局会を定期的（理事会を行った月及び内容が特にならない月は非実施）に行いました。

平成 30 年度 法人事務局会実施状況

月	日	主な内容	出席者
5	2	事業所状況、5 月定例理事会・6 月定時評議員会について	理事長、勝田理事、村井
7	23	事業所状況、伊勢原市指導監査実施について	理事長、勝田理事、村井
9	27	事業所状況、伊勢原市指導監査結果、法人表彰、10 月定例理事会について	理事長、勝田理事、村井
11	29	事業所状況、表彰規定について、みかん園契約解除	理事長、勝田理事、村井
1	24	事業所状況、会計指導、3 月定例理事会について	理事長、勝田理事、村井

(7) 監事の活動状況及び会計指導

今年度も、「確実な経理処理」「透明性のある会計内容」実現のために、定期的に会計指導を受けています。また、法人ガバナンス強化の意味合いからも2名の監事が理事会に参加し、意見をいただいています。

平成30年度 会計指導・監事(会計監事監査含)状況

月	日	内 容	備 考
4	19	定期会計指導	1～3月分 日本コンサルティング
5	10	定期会計監事監査	会計監査(会計1～3月分含む)高橋監事
5	14	決算会計指導	日本コンサルティング
5	17	事業監事監査	中村監事
5	24	5月定例理事会	中村監事、高橋監事
8	2	定期会計幹事監査	4～6月分 高橋監事
8	6	定期会計指導	4～6月分 日本コンサルティング
10	26	定期会計指導	7～9月分 日本コンサルティング
10	27	定期会計監事監査	7～9月分 高橋監事
10	27	10月定例理事会	中村監事、高橋監事
1	24	定期会計指導	10～12月分 日本コンサルティング
1	30	定期会計監事監査	10～12月分 高橋監事
3	7	3月定例理事会	中村監事、高橋監事

Ⅱ 指定就労継続支援 B 型事業所・指定生活介護事業所「さくらの家福祉農園」の動向

1 事業所の行事

平成 30 年度 利用者行事・自治会活動

月	日	内容	備考
4	3	キックオフ・オリエンテーション	
6	9	アグリフェス	田植え体験
7	2	避難訓練	火災想定
8	11	夏季休暇	～8/15
9	15	小田原自然農法普及会展示会	村井講演
9	22	アグリフェス	稲刈り体験
9	22	伊勢原市障害者スポーツ大会	生活介護利用者
10	4	赤い羽根共同募金	利用者 2 名
11	16	馬渡自治会防災訓練	岡崎福祉館 利用者 2 名
11	23	アグリフェス	餅つき大会
12	4	障害者週間街頭キャンペーン	利用者 2 名
12	11	歳末助け合い募金	利用者 2 名
12	24	クリスマス昼食会	
12	29	冬期休暇	～1/3
1	17	伊勢原市福祉作品展	～1/18
2	11	アグリフェス	夏野菜の種蒔き体験
3	4	避難訓練	地震想定
3	29	衛生管理勉強会	年度末お茶会も併せて開催
利用者自治会メンバー会議 毎月第 1 月曜日午前中に開催			

2 利用者数の状況

① 平成 30 年度 利用者登録数推移

就労 B の利用者は、年度途中から 1 名が利用を開始しました。生活介護では特に増減はありませんでした。

事業種別	性別	H30.4.1 現在	H31.3.31 現在
就労継続支援B型事業所 登録利用者 (定員 10 名)	男性	7 名	8 名
	女性	4 名	4 名
	合計	11 名	12 名
生活介護事業所 登録利用者 (定員 10 名)	男性	9 名	9 名
	女性	3 名	3 名
	合計	12 名	12 名
合計		23 名	24 名

② 生活介護事業所利用者 障害支援区分推移(平成 27 年度～平成 30 年度)

28 年度以降は横ばいが続いています。現在、両事業ともに定員は 10 名であり、これ以上新規利用を受けることができない状態であるため、横ばい状態となっています。

	区分	平成 27 年度末現在	平成 28 年度末現在	平成 29 年度末現在	平成 30 年度末現在
障害支援区分	3	4 名	4 名	4 名	4 名
	4	6 名	7 名	7 名	7 名
	5	1 名	1 名	1 名	1 名
	平均	3.72	3.75	3.75	3.75
合計		11 名	12 名	12 名	12 名

③ 平成 30 年度 各月の就労継続支援 B 型事業所利用者延人数と日平均利用者数

10 月中旬に 1 名が利用を開始しています。今年度は稼働日数に対する出勤率が 96.4% (昨年度 91.4%) と、5%も上昇していました。日平均利用者数では 29 年度 (11.0 人/日) と比較すると 11.1 人/日で横ばいでした。29 年度は、当初 13 名の利用があったため平均利用者数が高くなっており、それと比較すると利用者が効率よく出勤できていたということが分かります。

各月の状況	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
開所日数(日)	21	23	22	22	20	21	23	22	21	20	20	21	256
総延利用者数 (人日)	223	243	236	234	219	223	254	258	243	223	231	247	2834
日平均 利用者数(人)	10.6	10.6	10.7	10.6	11.0	10.6	11.0	11.7	11.6	11.2	11.6	11.8	11.1
月稼働率(%)*	106.2	105.7	107.3	106.4	109.5	106.2	110.4	117.3	115.7	111.5	115.5	117.6	110.7

*月稼働率は、利用定員に対する割合。

④ 平成 30 年度 各月の生活介護事業所利用者延人数と日平均利用者数

生活介護では昨年同様 9 月に日平均利用者数が落ち込みました。日平均利用者数は 11.17 人/日で昨年度 (9.94 人/日) と比較すると伸びています。生活介護の稼働日数に対する出勤率は 93.1% でした (29 年度は 92.6%)。

各月の状況	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
開所日数(日)	21	23	22	22	20	21	23	22	21	20	20	21	256
総延利用者数 (人日)	234	258	247	252	227	215	261	247	233	227	223	236	2860
日平均 利用者数(人)	11.1	11.2	11.2	11.5	11.4	10.2	11.3	11.2	11.1	11.4	11.2	11.2	11.2
月稼働率(%)*	111.4	112.2	112.3	114.5	113.5	102.4	113.5	112.3	111.0	113.5	111.5	112.4	111.7

*月稼働率は、利用定員に対する割合。

3 利用者支援状況

(1) 農園売上

次表は、平成 30 年度の販売区分別売上金額（平成 29 年度の金額との比較：販売区分別表）を示しています。また下表は、平成 30 年度の作業区分別売上金額（平成 29 年度の金額との比較と前年比：作業区分別表）です。

平成 30 年度の売上は、総合計が 270 万円となった 29 年度には及びませんでした。今回は、個人注文（個人のお客様から注文を受けて生産販売したもの）の集計を加えています。個人注文は、夏場のブルーベリーの受注摘み取り、野菜苗の受注生産、加工品の受注生産が主な内容です。

農園販売の落ち込みは、猛暑により夏場の農園での野菜生産が不良で、売り上げが前年比 37.4%（作業区分別表 -291,750 円）であったことが大きく影響しています。また、みかんやブルーベリーの減収も響いています。みかんは契約を終了しました（後述）ので、次年度以降はなくなります。また、ブルーベリーは夏季の酷暑が継続すると考えると、これ以上作業を増やすことは考えられません。作業受注で前年比 327.8%であったのはハウスビニールの張り替えという単価の高い作業があったため、次年度以降継続できる可能性は低いため、夏季の灌水対策等で夏野菜の増収を再考する必要があるといえます。また、苗関係の販売を強化していくことも必要でしょう。

販売区分別平成 30 年度売上金額および平成 29 年度売上金額（販売区分別表）

販売区分	平成 30 年度売上金額(円)	平成 29 年度売上金額(円)
農園販売	912,940	1,486,900
外部販売	446,960	486,930
作業受注	621,500	182,600
わくわく広場出荷	242,341	441,348
卸販売(わくわく広場以外)	70,230	150,810
個人注文	192,610	-
合計	2,486,581	2,748,588

作業区分別平成 30 年度売上金額および平成 29 年度売上金額および前年比（作業区分別表）

販売区分	平成 30 年度売上金額(円)	平成 29 年度売上金額(円)	前年比(%)
加工物品	774,360	790,120	98.0
作業	621,500	189,600	327.8
野菜苗	398,750	436,044	91.4
花卉類	261,512	329,798	79.3
野菜	173,396	466,046	37.4
ブルーベリー	133,300	278,160	47.9
みかん	53,700	161,950	33.2
米	48,460	61,280	79.1
その他	21,603	35,590	62.0
合計	2,486,581	2,748,588	90.5

(2) 作業支援

1) 農園作業グループ

①花苗生産

春夏播きについては、42 品目 108 品種と多くの種類を栽培しました。早くから気温が高く推移していたため、比較的順調に生育しました。しかし、夏季の酷暑によって発芽や生育が阻害されたものもありました。また、秋の花壇用に準備したもので、高温で逆に老化が促進され、ダメになるものもありました。

切り花用の花も栽培し、ドライフラワーや花束として活用することができました。また、植えた花の維持管理や花束づくりなどはボランティアの方がご尽力くださいました。

夏秋播きも、45 品目 118 品種と多くの種類を栽培しました。ストック、パンジー等は、お盆前後に播き始めますが、その時期に播いたものは、暑さのためほぼ発芽しませんでした。その後は順調に発芽しましたが、需要のある 12 月までに開花せず、また株が小さい状態で 1 月下旬頃から開花を始めました。今後は夏の暑さ対策を行なって 12 月までに量を確保する必要があります。

花卉は細かい種が多く、所属の利用者では困難であるため、他班の協力を得ながら進めました。また、複数の職員が携わりましたが、花卉栽培が初めてであり種の細かさや播き方を学びながらであったことも生産が困難を極めた一因となっていました。

利用者は、それぞれの好きな作業を中心に行なっていましたが、これまで携わらなかった少し難しい播種等の作業にも挑戦しました。通常一人で行なう工程も、細分化してそれぞれを担当することで、できないと思われた作業ができるようになったりもしました。

②加工品生産

加工作業には、主に 4 名の利用者が携わりました。

ジャム類は売れ行きも良く、今や定番となっています。期間限定のブラックベリージャムは、原料のブラックベリーの収量が増加したため、昨年より多く生産できました。

お茶類は顧客ニーズを反映させ、大袋を発売するなど値段や形状に幅を持たせました。

ドライフラワーや木の実を使った雑貨類では、季節物の商品は早期に作成するなど、昨年度の反省を活かしました。新商品の売れ行きも良く、売り上げは伸びました。

また、新規販路として(株)HOYA 様のエコプロジェクトでポプリを受注生産したり、ハーバリウム事業を立ち上げられたという(株)Tsunagaru 様からは、ドライフラワーの受注があったりなど、拡大することができました。

雑貨生産部門には、手先の細かい作業技術の習得を目指して、雑巾縫製作業やポプリのポチ袋作り、野菜苗カタログの製本作業などを取り入れました。雑巾の縫製作業では、それまでできなかった玉止めや玉結びができるようになったり、回を重ねるごとに縫い目が綺麗に上達したりする利用者もいました。製本作業では紙をきれいに折って端を揃える作業に苦勞していましたが、次第にうまくできるようになっていました。

また、加工作業に携わった利用者が販売に参加した際、顧客の購入時の様子を観察し、売れ筋の商品について知ることによって商品のアピールの仕方について考えるようになるなど、加工品の生産や次回の販売に意欲を燃やされる方もいました。その方は、販売時の顧客の様子を職員に報告したり、事前に目玉商品は何かを職員に聞いたりして、自分で作った商品を販売する意識と意欲が高まったように感じました。

加工作業におけるハード面では、衛生面・安全面を考慮しジャム生産時の調理器具の買い替えを行なっています。特にジャムを混ぜる際に使用するヘラは、火傷をしないように持ち手の長い物にするなどしています。

品名	備考	平成 30 年度 売上高(円)	平成 29 年度 売上高(円)
ブルーベリージャム	ブルーベリージャム・甘さ控えめブルーベリージャム	153,200	187,250
みかんジャム※	みかんジャム・みかんマーマレード	139,450	257,400
ハーバリウム	各種花卉類	115,800	31,800
花卉・木の実ドライ素材リース等	ドライフラワー・ケ・アロマドライナッツ・アロマドライフラワー・リース等	66,150	33,100
柚子胡椒	柚子胡椒(赤)・柚子胡椒(黄)	56,400	53,450
ポプリ各種	ラベンダー・ミント系・ローズ・レモン	52,600	4,950
ブラックベリージャム	収量が少ないため、数量限定品	36,000	10,100
和茶	ごぼう、にんじん、くず、桑、すぎな、どくだみ	26,400	37,300
料理用ハーブ	ロリエ・ローズマリ等	18,450	37,650
贈答用加工品セット	ジャム・お茶類	16,400	3,900
ハーブティー(カモミール・マロウ以外)	レモンバーム・レモングラス・レモンバジル・MIX ミント	15,900	14,350
カモミール	カモミール花	13,250	16,000
マロウ	マロウ花	6,050	11,950
乾燥唐辛子	トウガラシ(鷹の爪)実	4,000	6,600
その他	大山マラソン応援旗(H29は加工班として未計上)	3,000	-
バジリソース	内販のみ	12,500	24,700
合計		735,550 円	730,500 円

※わくわく広場への出荷分は除く。

③野菜苗生産

野菜苗は、売り上げの大半を夏野菜苗が占めていますが、年間通じて生産したレタス類も堅調でした。トマト、ナス、ピーマンについては、やまゆり生協様のお客様に提供する苗も生産させていただきました。ご要望のあった品種が、天候等の影響もあり提供日に揃わないということもありましたが、他品種で数を揃えることで対応させていただきました。今後の課題となっています。

今年度は、農家さんからの大口の受注生産もあり、春先の苗管理(温度・灌水等)が大変でしたが、苗置き場を確保しながら対応することができました。次年度は新しいハウスを導入して対応することになっています。

平成 30 年度 野菜苗売上

品目名	売上高(円)	備考
トマト類	177,990	トマト・ミニトマト・中玉トマト合計(やまゆり生協様分含)
ナス類	44,806	ナス・長ナス合計
レタス類	38,356	玉レタス・サニーレタス類合計
ピーマン	35,509	2 品種
カボチャ	25,450	複数品種
キュウリ	25,244	複数品種
その他	51,395	売上高 1 万円未満の野菜苗の合計
合計	398,750	

④野菜生産

下表は、昨年度までは「ファーム」「菜園」を分けて集計していましたが、夏場の酷暑の影響で夏野菜の生産量が軒並み落ち込んでしまいましたので、野菜全般の集計結果を示したものになっています。

売上高一位は変わらずトマト類でしたが、29年度は14万円超でしたので、4分の1にまで減少しています。オクラも売上高は減少していますが、単位面積当たりの売上高が高い野菜ですので、夏場の管理を徹底することで対応していきたいと考えています。キュウリなどは暑さで全く振るいませんでした。

逆に例年栽培に苦勞していたニンジンが播種後の管理と間引きの徹底でとてもよくできました。特に間引きについては、利用者の中でとてもうまい方がおり、その方に徹底的に行なっていただいたことで、良いものができました。

ブロッコリーもネットをかけるなどの害虫対策を行なうことで、久々に良品ができました。

長ネギについては、植え付け方法を工夫して自閉症の利用者中心に作業していただくことができました。その後も夏の暑い時期の栽培となったため大変でしたが、みんなで暑い中日除けをしながら草取りをすることで良品ができ、年度末まで収穫ができました。

平成30年度 野菜売上

品目名	売上高(円)	備考
トマト類	34,712	ミニトマト・中玉トマト合計
長ネギ	18,200	
レタス類	16,600	
ブロッコリー	13,150	
ジャガイモ	12,800	
オクラ	11,688	
ニンジン	10,350	
その他	55,896	売上高1万円未満の野菜の合計
合計	173,396	29年度の野菜総売上は466,046円

2) 所外作業グループ

①みかん園（作業回数全13回）

春から秋まで月に1回のペースで草取りをしました。収穫直前の草刈りまでは、職員が行なっています。現存している樹は5本程度で、今冬は枯死木の伐採を行ないました。

当園での総収量は約200kgでしたが、別畑の収穫を依頼され2日間収穫を行なったものについては、約600kgの収量がありました。

みかん園作業も開始から8年を経たため、利用者にとっては恒例の作業となっています。そのため、作業の内容を伝えるだけで、必要な道具を持ってそれぞれ草取りや収穫を行なうことができるようになっていきます。また、別園での収穫作業では、昼食時以外は休憩を取ることができませんでしたが、最後まで集中力を切らさず継続できた方もいました。

次年度以降は作業を継続できなくなってきたため、契約終了の申し出をしました。

平成28～30年度 みかん収量および売上金額

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収量	約1,060kg	約1,470kg+約1,270kg	約200kg+約600kg
売上金額	90,450円	161,950円	53,700円

②個人宅整備

5月に1回、11月に1回、12月に1回、平塚市、秦野市の個人宅で剪定、除草作業等を行ないまし

た。各 2,000 円～10,000 円で行なっています。

利用者が剪定した枝を狭い場所で受け取って車の荷台まで運ぶ作業などがうまくできるようになっています。

③水稲栽培

〔馬渡田んぼ一うるち米〕今年度は稲刈りのみ、利用者が入って作業を行ない、それ以外の工程は職員が行なっています。例年問題となっている雑草は、今作も変わらない状況でバインダーを使用して稲刈りをすると草がからんでうまくできませんでした。そこで、刈払機を使用して稲を刈り倒し、雑草を取り除きながら束ねるという作業を行ないました。利用者にとってはいい作業となっていました。

〔バッティングセンター裏一もち米〕アグリフェス参加者と年間を通じて田んぼ体験をする圃場として行ないました。

こちらも除草作業不足が影響して、収量は少なかったです。そのため、一般販売は行わず収穫祭でのし餅にして配るのみでした。

〔全体〕昨年度から脱穀、籾摺りを本園で行なっています。屑米の選別にも力を入れており、利用者の冬場のいい作業になりました。除草作業や収穫期の雀対策の遅れが、収量減少に影響を及ぼしています。

平成 28～30 年度 うるち米およびもち米の収量および売上高

種類	収量			売上高	
	H28	H29	H30	玄米	精白米
うるち米	140kg	200 kg	180 kg	9,030 円	28,150 円
もち米	15 kg	40 kg	20 kg	-	-

④秦野精華園ビニールハウスのビニール張替え（444,000 円で受注）

（社福）神奈川かながわ共同会 秦野精華園様より、台風で破損したビニールハウスのビニールを張り替える作業を請け負いました。ほぼすべての職員が何かしらの作業に携わることによって完遂しましたが、ハウス上に登るなどの作業であったため、利用者のできることが少なく見ていることが多くなってしまいました。ただ、どこかへ行ってしまふなど勝手な行動をとることはなく、ビニールを畳んだり、道具を取ったりなど、細かな作業を行なうことができていました。

⑤花壇整備

例年どおり 6, 9, 12, 3 月に市役所、図書館、ボンセジュール、愛の森学園の花壇整備を行ないました。それぞれ 10,000 円分の花苗を植えています。市役所、図書館は一般の方が行きかう中での作業であるため、利用者も通行の邪魔にならないように物の置き場等意識して行なうことができていました。

3) 販売活動

利用者に関わった主な販売活動は次表のようになっています。

養護学校 3 校とその他は定期的に合計 40 回行きました。のべ 62 名の利用者が携わりました。伊勢原養護学校販売では、平均が 1 万円を超えるなど、先生方の協力を得てたくさん販売することができています。茅ヶ崎販売は平日の早朝に行くリスクを考慮して途中で中止することとしました。

学校のお祭やバザー等には計 7 回参加して販売しています。12 月のふれあい福祉祭りは、いつもどおりたくさんの方々を買っていただいています。初参加したオーガニックマーケットでは、自然農法等に関心のある客層であったため、多くのものを売ることができました。2 年目の出店となったサン

サンマルシェは、平塚の商工会議所が主催で平塚海岸公園で開催されており、農福連携の一環で参加させていただいています。こちらは若い人たちを中心に出品されていましたが、7月の暑い時期であったこともあり、売り上げが前回ほど伸びませんでした。

卸出荷では、恒例となった「やまゆり生協」様への夏野菜苗の出荷を行なっています。トマト、ナス、ピーマンを合わせて470本出荷しました。(株)Tsunagaru様は、ハーバリウム事業を立ち上げるとのことで連携できればというお話をいただいて、出荷させていただきました(前述)。GEN様、山の百貨店様は地元の飲食店、販売店です。愛の森学園様は、毎年開催されています「森の里カーニバル」で商品の販売を行なっています。

平成30年度 販売活動状況

販売場所	販売日	実績	参加 延利用者数	売上高	平均売上 (1回当たり)
MOA小田原会館	毎月第1日曜日	10回	10名	57,860円	5,786円
茅ヶ崎自然農法普及会	毎月第2水量日	2回	2名	11,360円	5,680円
湘南養護学校	毎月第2金曜日	10回	20名	49,210円	4,921円
伊勢原養護学校	毎月第3金曜日	9回	17名	101,140円	11,238円
平塚養護学校	毎月第4金曜日	9回	13名	49,550円	5,506円
合計		40回	62名	269,120円	6,728円
出展名(販売場所)	月	日	参加利用者数	売上高	
オーガニックマーケット(伊勢原運動公園)	4	1	2名	55,550円	
メーデー(平塚市総合運動公園)	4	22	2名	10,890円	
SUNSUN マルシェ(湘南海岸公園)	7	1	2名	13,350円	
わいわいマーケット	8	24	2名	11,850円	
竹の子まつり(竹園小学校)	10	27	3名	12,250円	
ふれあい福祉まつり(すこやか園)	12	8	3名	43,750円	
春色フェスタ	3	2	2名	21,610円	
合計	7回		16名	169,250円	

平成30年度卸出荷状況

卸先	金額	備考
やまゆり生協 様	39,780円	夏野菜苗(トマト・ナス・ピーマン)の出荷
(株)Tsunagaru 様	12,900円	ハーバリウム素材としてのドライフラワーの出荷
GEN 様	6,970円	食材としての野菜の出荷
山の百貨店 様	7,600円	野菜
愛の森学園 様	3,000円	「森の里カーニバル」への販売物の出荷

(3) 就労継続支援B型事業所利用者工賃支払状況

平成30年度中の就労継続支援B型事業所利用者に対する工賃支払状況は次の表のとおりです。5月と11月にボーナスを支払っています。平均工賃月額、13,141円(平成29年度実績10,017円)、時給額で136円(同117円)となっています。

30年度は29年度ほどの売上はありませんでしたが、ここ数年の売り上げと比較すると上回る事ができ、利用者の工賃に反映することができました。

就労継続支援B型利用者の前年度の毎月の工賃支払対象者数及び工賃支払総額

対象工賃月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支払対象者(人)	11	11	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12	138
支払総額(千円)	124	243	132	131	123	125	141	273	134	122	128	136	1,812
延べ勤務時間数	1,091	1,193	1,154	1,140	1,072	1,092	1,242	1,263	1,184	1,082	905	963	13,381
延べ勤務日数	223	243	236	234	219	223	254	258	243	223	231	247	2834

今年度の平均工賃 13,141 円/月/人(時給 136 円)

4 地域生活サポート事業

地域生活サポート事業とは、障害者の地域生活を支え、地域での生活へ移行を推進するために実施するもので、県・市が補助を行う事業です。本法人では、障害者地域余暇活動支援事業、地域交流等支援事業を実施しています。

(1) 障害者地域余暇活動支援事業

障害者が地域で豊かに暮らしていくために、地域住民・家族・施設職員が一体となって利用者をサポートする体制を構築することを目的として行っています。

平成30年度の実績は次表のとおりです。今年度も主に陶芸を行いました。毎回決まった方の参加ですが、箸置きや小皿など新しい作品にも挑戦しました。

昼食会は慰労の意味も含めてクリスマスと年度末に行いました。

ボランティアや一般の方の参加が減少しているため、もう少し幅広く周知していきたいと思えます。

平成30年度 障害者地域余暇活動支援事業 参加実績一覧

イベント名	参加延人数(人)	
クリスマス昼食会	35	
年度末昼食会	35	
ドライフラワー・オーナメント作り	24	福祉作品展作品づくり
陶芸	84	月1回開催
合計	178	

(2) 地域交流等支援事業

基幹作業である農作業を利用者とともに体験することで、お互いを知り障害者の権利を考えながら、地域福祉の在り方を探る取り組みとしています。今年度は、合計4回実施し、130人の参加者がありました。夏季の猛暑で、行事を行なうどころではなかったため、回数を減らしています。

稲作体験は、田植え、稲刈りと全2回行いました。また、夏野菜栽培体験のなかで、例年3月に種まき体験を行っていますが、今年度は少し早いですが、2月に行ないました。

11月には、例年行なっていた収穫祭を縮小し、近隣の方々から要望の多い「もちつき」に特化して『餅つき会』を行ないました。収穫祭ほど広く呼び掛けることはしませんでした。多くの方がご参加くださいました。

平成 30 年度 地域交流等支援事業 参加実績一覧

実施日	イベント名	参加者(人)	備考
6/9(土)	稲作体験Ⅰ(田植え)	27	
9/22(土)	稲作体験Ⅱ(稲刈り)	29	
11/23(金・祝)	もちつき会	59	例年は「収穫祭」
2/11(月・祝)	春の種まき講座	15	例年は3月に催行
合 計	4 回	130 人	

5 ボランティア・実習等受け入れ状況

平成 30 年度中の実習やボランティアの受け入れ状況は次のようになっています。

今年度もボランティアの方（通期で来られた方 4 名が 61 回）には、夏場の除草作業や花束づくりなどでお世話になりました。

神奈川県社会福祉協議会による教職員免許を取得するための実習の一環として行われている福祉介護現場体験に今年度は 9 名の申し込みがありました。

平成 28 年度より事業所主体で開催されている養護学校保護者見学会には、今年度は 6 名が参加されました。

養護学校生の利用実習で来られた方は利用には繋がりませんでした。

見学者では、年度末にインドネシアのウダヤナ大学の学生さん 2 名が日本の自然農法や農業経営のシステムを学ぶために、NPO 法人たこ凧揚がれ様を通じて研修に来られた際、当方にも来訪されました。

平成 30 年度中のボランティア・実習・見学等受け入れ状況

団体名等	回数(日)	参加者数(人)	備考
個人ボランティア	61	4	
利用見学	1	2	
養護学校生等利用実習	10	1	
大住中学校 職場体験	1	2	1/25(木)
本町中学校特別支援級 職業体験	1		2/1(木) 引率者含む
教職員予定者介護等体験	30	9	神奈川県社協の事業の一環
養護学校保護者見学	6		見学会参加者
見学等来訪者	1	6	インドネシア大学生

6 職員研修・出張状況等

平成 30 年度に参加しました職員の研修・出張等の状況は次の表のとおりです。

実施日	研修内容	参加者
6/19、8/3、10/22、1/16	伊勢原市協議会／就労支援部会	多田
9/13、9/14	初任者研修(県社協)	風間
9/26	社会保険事務講習会	風間
10/19	神奈川県事業者等指導講習会	村井
2/26	HACCP 研修	多田
3/22	アセスメント研修	多田

平成 30 年度 職員出張状況

月	日	内容	場所	職員
4	2	市役所挨拶	市役所	理事長、村井
4	2	事務手続き	法務局(厚木)	村井
6	8	職員健康診断	伊勢原市文化会館	植田
7	3	事務手続き	平塚年金事務所	村井、風間
7	10	わいわいマーケット打合せ	いせはら市民活動サポートセンター	箕輪
7	25	事務手続き	法務局(厚木)	村井
7	28	愛の森・故星野施設長お別れ会	愛の森学園	村井
9	6	ふれあい福祉祭り打合せ(10/4, 11/8)	すこやか園他	清水、箕輪
9	19	大仁農場見学	大仁農場	村井、清水
10	30	事務手続き	法務局(厚木)	村井
11	2	職員健康診断	伊勢原市文化会館	清水、多田
11	13	年末調整説明会	伊勢原市文化会館	風間
1	14	グループホーム見学	GHかがやき	村井
1	18	職員健康診断	伊勢原市文化会館	坂本
1	20	春色フェスタ打合せ	雨岳文庫	箕輪
2	1	保護者見学会説明会	平塚養護学校	村井
3	6	避難訓練報告書提出	伊勢原消防局	箕輪
3	28	労使協定書提出	平塚労働基準監督署	坂本

Ⅲ 「障がいサポートコールラビ」の動向

表-1 は障害種別の相談支援利用件数および全体に占める割合および平成 29 年度と平成 30 年度の増減割合です。

30 年度の総件数は 2320 件でした。29 年度と比較すると-10%となっており、減少しています。

これまで全体の 60%程度を知的障害者の件数が占めていましたが、知的障害者の利用件数の減少と精神障害者の利用件数の増加により、56%に減少しています。また、発達障害者や高次脳機能障害者の割合も増加しました。

表-2 は、相談支援台帳登録者数および割合および一人当相談件数です。

全体数は微増ですので、表-1 の相談件数の減少は、一人当たりの相談件数の減少を意味しています(29 年度 17.1 件/人→30 年度 14.8 件/人)。

登録者数全体から見た割合では、知的障害児者が 67.5%で、この数値は横ばい状況であり、依然として高い割合を保っている状況です。

一人当たりの相談件数は、精神障害者が多く、一人当たり約 26 件となっています。これは 1 か月あたり一人が約 2 回相談を受けている計算になります。母数の多い知的障害児者と比較すると精神障害者の相談件数はかなり多いことが分かります。

表-3 は、支援方法別件数およびその割合および前年比です。

件数を見ると 30 年度は、29 年度に多かった自宅等への「訪問」が減少し、逆に「電話相談」が増加しています。しかし、各年度の割合を見ると、そこまで大きな変化がないことから、単純に相談件数が減少しただけだと言えるでしょう。「来所相談」や「同行」についても前年比だけで見ると大幅な減少ですが、同様に全体から見た割合は大きな変化が見られず、

表-1 障害種別相談支援利用件数および全体に占める割合および増減

障害種別	H30		H29	H29→H30 の増減(%)
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	
身体障害	270	11.6	304	-11.2
重症心身障害	4	0.2	8	-50.0
知的障害	1303	56.2	1615	-19.3
精神障害	519	22.4	419	+23.9
発達障害	141	6.1	95	+48.4
高次脳機能障害	53	2.3	36	+47.2
児童	23	1.0	65	-64.6
その他	7	0.3	46	-84.8
合計	2320	100	2588	-10.4

表-2 相談支援台帳登録者数および割合および一人当相談件数

障害種別	H30			H29
	人数(人)	割合*(%)	一人当相談件数***	人数(人)
身体障害児者	13	8.3%	20.8	13
重症心身障害児者	2	1.3%	2	2
知的障害児者	106	67.5%	12.3	103
精神障害	20	12.7%	26.0	20
発達障害	12	7.6%	11.8	8
高次脳機能障害	4	2.5%	13.3	3
その他	0	0%	0	2
合計	157	100	14.8	151

※ 割合は登録者全体数に対する各障害種別の割合

※※一人当相談件数は、表-1 の H30 件数を表-2 の H30 人数で除した数値。

表-3 支援方法別件数およびその割合および前年比

支援内容	H30		H29		前年比(%)
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	
訪問	596	25.7	643	24.9	92.7%
来所相談	259	11.2	335	13.0	77.3%
同行	84	3.6	128	4.9	65.6%
電話相談	260	11.2	251	9.7	103.6%
電子メール	63	2.7	67	2.6	94.0%
個別支援会議	134	5.8	135	5.2	99.2%
関係機関	915	39.4	1015	39.2	90.1%
その他	9	0.4	14	0.5	64.3%
合計	2320	100	2588	100	89.6%

全体として相談方法に大きな変化は見られない、とすることができます。

相談内容別件数は表-4 になります。1 件の相談に複数の相談内容が含まれているため、相談総件数 (2320 件) よりも相談内容件数 (3100 件) が多くなっています。

「福祉サービスの利用に関する支援」が、全体の 50.3%を占めていますが、この傾向は相談室開所以来続いています。

「不安解消・情緒安定に関する支援」は、今年度もさらに減少しています。

「家計・経済に関する支援」や「社会参加・余暇活動に関する支援」は、昨年度は一昨年度と比較して増加していましたが、今年度は減少しています。

今年度増加したのは「障害や病状理解に関する支援」「就労に関する支援」でした。

表-4 相談内容別件数

相談内容	H30		H29		前年比(%)
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	
福祉サービスの利用に関する支援	1560	50.3	1479	46.8	105.5
障害や病状理解に関する支援	182	5.9	150	4.7	121.3
健康医療に関する支援	339	10.9	393	12.4	86.3
不安解消・情緒安定に関する支援	64	2.1	78	2.5	82.1
保育教育に関する支援	57	1.8	64	2.0	89.1
家族関係人間関係に関する支援	330	10.6	293	9.3	112.6
家計・経済に関する支援	105	3.4	164	5.2	64.0
生活技術に関する支援	88	2.8	96	3.0	91.7
就労に関する支援	241	7.8	192	6.1	125.5
社会参加・余暇活動に関する支援	31	1.0	94	3.0	33.0
権利擁護に関する支援	84	2.7	123	3.9	68.3
その他	19	0.6	32	1.0	59.4
合計	3100	100	3158	100	98.2

表-5 は、年度別市町別サービス利用計画等作成件数を示しています。

平成 28 年度以降、全体数は増加傾向にあります。昨年度も他事業所からの相談利用者の異動がありました。今年度もその傾向は続いています。

他市町については、極力その市町に返すという方針にしたため、若干減少しています。

表-5 年度別市町別サービス利用計画等作成件数

市町名	H30		H29		H28	
	計画	モニタリング*	計画	モニタリング*	計画	モニタリング*
伊勢原市	95	320	77	295	68	303
平塚市	7	14	10	16	9	9
その他(横浜市、川崎市、三浦市、座間市、秦野市、海老名市、横須賀市、松田町、二宮町)	13	32	18	32	13	24
合計	115	366	105	343	90	336

